

# わくや

9月会議号

2025.11. 1

No.223

うんどうかい

ぼくがんばるぞ！  
わたしもがんばるぞ！

涌谷修紅幼稚園運動会 P12 へ

## 【9月会議】

|                           |    |
|---------------------------|----|
| 決算審査 .....                | 2  |
| 議案審議・補正予算 .....           | 6  |
| 町政をたずね〈一般質問〉 .....        | 7  |
| 行政視察レポート .....            | 13 |
| 輝く皆さんの声〈キラキラ Voice〉 ..... | 14 |

# 89億4046万円

## 議会が注目した目玉事業の決算

9月  
会議

決算  
審査

令和7年涌谷町議会定例会9月会議↓11日(木)～18日(木)まで開催  
条例改正など議案15件↓全て原案のとおり可決  
一般質問↓5人の議員が町政をただした  
議員提出議案3件↓全て原案のとおり可決

|         |         |    |
|---------|---------|----|
| 原案可決    | 条例改正など  | 8件 |
|         | 決算・補正予算 | 7件 |
|         | 議員発議    | 3件 |
| 一般質問 5人 |         |    |
| (→P 7へ) |         |    |



ワクヤ・チキンフェスティバルの様子

### 交流が豊かさ育むまちづくり

- ・特産品開発支援事業 …… 200万円  
森林どりを使用した新メニューの開発、試食会
- ・わくや万葉の里開設30周年記念事業 …… 380万円
  - 1 東大寺特別展：東大寺と初代別当良弁僧正 (9/27～11/17)
  - 2 東大寺長老筒井寛昭師記念講演会の実施 (9/29)



イングリッシュ・キャンプの様子

### 子どもの成長支えるまちづくり

- ・学校給食食材費補填 …… 424万円  
地産地消と食育の推進
- ・イングリッシュ・キャンプ事業 …… 280万円  
英語力の向上やグローバルな人材を育成  
→参加者17名、3日間開催 (南三陸町)



来院数が多い大崎市民病院

### 健康長寿に向けたまちづくり

- ・民間コンサルによる持続可能な施設の在り方を検討 (涌谷町老人保健施設) …… 652万円
- ・地域医療対策 …… 3508万円  
「大崎地域の医療提供体制の確保に係る連携協約」に基づく持続可能な医療体制を継続など



排水路整備 (田町裏地内)

### 安全で快適な環境のまちづくり

- ・道路新設改良事業 …… 2億7034万円  
泥目木線道路整備、笹岳山線測量設計、馬場崎、玄岡線拡幅など  
道路利用者の利便性、安全性の向上
- ・公共下水道雨水排水施設整備事業 …… 2823万円  
江合川右岸第3排水路区排水路整備 (田町裏地内)

# 令和6年度決算 安心して生活できる町に

## 決算審査



社会参加に向けた情報交換会

### 協働による自立したまちづくり

- ・地域共生社会の支援体制整備  
重層的支援体制整備13事業……………9085万円  
介護・障害・子育て・生活困窮の属性を問わない相談支援や地域コミュニティの活性化に向けた支援など一体的な支援を推進
- ・国保税の減額  
未就学児均等割5割軽減、18歳まで均等割全額減額、産前産後期間相当分所得割・均等割減額  
……………世帯数151世帯、292万円の減

### ○監査意見 代表監査委員 城口 貴志生、議員監査委員 佐々木 みさ子

- ・財産分析指標（下表）…財政力が弱い状況で経常的一般財源の自由度が小さい。
- ・地方債は大きな変化はない。
- ・基金管理及び運用に問題はないが、各会計の支出事務がスムーズに行われるように適切な運用に配慮を。

### ○財政分析指標の推移

(普通会計・単位：%)

| 区 分                                              | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 備 考                    |
|--------------------------------------------------|-------|-------|-------|------------------------|
| 財政力指数（3か年）                                       | 0.38  | 0.37  | 0.38  | 1に近くあるいは1を超える程財政力が強い   |
| 実質収支比率 $\frac{\text{実質収支}}{\text{標準財政規模}}$       | 2.8   | 4.5   | 2.6   | 3～5程度が望ましい             |
| 経常収支比率                                           | 81.9  | 86.6  | 85.7  | おおむね70%から80%の間であることが理想 |
| 義務的経費比率 $\frac{\text{人件費・扶助費・公債費}}{\text{歳出総額}}$ | 35.3  | 36.9  | 37.2  | 高い程財政構造悪化となる           |

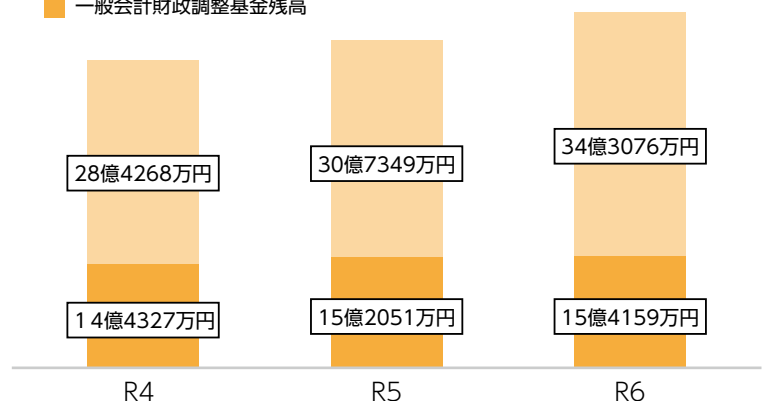
※標準財政規模には、臨時財政対策債発行可能額が含まれている。

健全財政を堅持している。一方、庁舎をはじめとする公共施設の老朽化が進行している。そんな中、公共施設等総合管理基金の設置は将来への希望の光の一つである。年次計画はないが、財源確保の土台はできた。今後も、少子高齢化と人口減少に加え、物価高騰による町民生活への様々な問題が出てくるのが予想されるが、町民福祉の向上に向け日々努力していきたい。

### 決算審査を終えて

### 積立基金計残高(うち財政調整基金残高)

■ 積立基金計残高  
■ 一般会計財政調整基金残高





杉浦謙一委員長

# 決算審査特別委員会

令和6年度各会計決算については、議員全員で構成する「決算審査特別委員会」を設置。9月12日・16日・17日の3日間で審査しました。

## 決算審査

### 一般会計質疑

#### 歳入

#### 財政運用収入

#### 貸付の根拠を明確に

黒澤 朗 委員

#### 問

ゴルフ場への町有地の貸付は650万円となっている。土地の算定額に見合っていない。町と法人との話し合いで金額を決定しているとのことだが、法人の決算書の提示もないなかで、何を根拠に金額を決定しているのか。

#### 答

令和7年度からは、700万円に増額した。今後も決算書の提出を根強く求めていきたい。

#### 歳出

#### 総務管理費

#### 町内資源を活用

一條裕太郎 委員

#### 問

新しいふるさと納税の返礼品を開発していくのではなく、町内資源を活用したふるさと

と納税の増収につなげるべきではないだろうか。例として水稲の田んぼ1枚を管理費込みで返礼品にしては。

#### 答

返礼品の形としては良いと思うが、コメの価格が定まらない段階では難しい問題もある。しかし、今後の参考に色々なケースを考えていきたい。

#### 職員研修費について

後藤洋一 委員

#### 問

職員研修は、業務に必要な知識としても大事であるが、人を育てるという意味でも、海外研修を取り入れるべきと考えるが。

#### 答

今後十分検討しながら計画していきたい。

#### 社会福祉費

#### 名簿の配布を

竹中弘光 委員

#### 問

敬老会名簿の配布を取りやめたということだが、町民のなかには名簿の配布を励みにしている方もいると聞いている。再考しては。

#### 答

個人情報保護は極めて重要であり、名簿作成においては、一人一人の意思確認が必要であり、リスクなどを考え廃止を決めた。

#### 児童福祉費

#### 多子世帯への独自支援は

一條裕太郎 委員

#### 問

多子世帯への涌谷町独自の支援として、児童手当の上乗せや給食費の無償化などの考えはあるか。また、子供を中心とした町づくりの考えは。

#### 答

多子世帯への現金給付は考えていないが、別の形で支援を考えていく。食材の補助は行っている。これから担う世代へも良い環境を整えていきたいと考える。

#### 保健衛生費

#### 焼却施設の公表を

稲葉 定 委員

#### 問

8千ベクレルを下回った放射能汚染稲わらを焼却した施設の公表はしないのか。

#### 答

公表しない。

#### 農業費

#### 2年後の共進会に

むけて

後藤洋一 委員

#### 問

評価の高い系統雌牛群(第二横利系)の町内保留を進め、2年後に開催される全国和牛能力共進会北海道大会に向けて、支援すべきと考えるが。

#### 答

涌谷町ブランド確立のためにも、北海道大会に備えていく。転作作物の今後

稲葉 定 委員

#### 問

コメの価格が上昇したが、いつ暴落するかと農家は懐疑的だ。転作については、全面的にコメ増産とはいかないので、収益が上がるような施策を望むが。

#### 答

政府の補助金政策が固まっているので、それを待って対応する。

## 国保会計質疑

7・7億円の使い道は

佐々木敏雄 委員

問

令和12年度に宮城県  
の保険税率が統一される。国保基金を税  
の激変緩和に活用できない  
が、活用は検討している  
のか。

答

町独自の保険事業  
への活用を検討し  
たい。議会でも考えて欲  
しい。

## 病院事業会計質疑

減収の要因は

竹中弘光 委員

問

外来収益が減収し  
た原因の調査をし  
ているのか。また、常勤  
医師が減ったこととの関  
係及び今後の医師の確保  
は。

答

医師の減少及び人  
口減少も影響して  
いると思われるが、精査  
しているところである。  
医師の確保については、  
明るい兆しがみえており、  
良い報告ができそうであ  
る。

## 本会議討論

稲葉 定 委員

汚染稲わらの混焼でも  
その焼却灰から高い放射  
線が出る。煙突からも放  
射性物質が飛散している  
ことは、数々の実験から  
明らかになっている。6  
年度に行われた8千ベク  
レルを下回った稲わらの  
焼却は、かなりのレベル  
の放射性物質が検出され  
ると推測される。ところ  
が、焼却施設やその他一  
切公表することなく、さ  
らに事後にも公表されな  
い。公金で行われる事業  
を検証できないのでは、  
議会制民主主義のピンチ  
だとさえ言えよう。汚染  
稲わらが見えなくなれば  
良いというような考えに  
は賛成しない。指示され  
た現場は被害者だ。よっ  
てこの認定は反対だ。

賛成  
黒澤 朗 委員

令和6年度決算におい  
て、非常事態宣言解除後  
ではあるが厳しい財政運  
営を強いられた。町長に

## 決算審査

おかれては、財政規律を  
保ちながら、扶助費等を  
増額し町政に取り組んだ。  
また、長年の懸案であつ  
た、老朽化する公共施設  
の問題に対して、公共施  
設等総合管理基金を創設  
した。また、物価高騰に  
よる生活の困窮、人口減  
少や少子高齢化などによ  
り生活にさまざまな影響  
が出てきた町民に対して  
真剣に向き合ってきた。

今後、より良い町民生活  
の確立を望み賛成討論と  
する。

賛成  
一條裕太郎 委員

冒頭に聖徳太子の言葉  
である「和をもつて貴し  
となす」を掲げたい。町  
民の皆様と行政、そして  
議会が互いに理解し合い、  
力を合わせて歩んでいく  
ところにこそ、地域の未  
来を切り拓く道があると  
確信する。

令和6年度は、コロナ  
禍からの回復、物価高騰  
への対応、そして人口減  
少という大きな荒波の中  
にあった。しかし、教育・  
福祉・産業・防災といっ

た幅広い施策において、  
町民の命と暮らしを守り  
抜こうとする執行部の姿  
勢はまさに「和の力」を  
体現するものであったと  
評価する。

また、財政運営におい  
ては、健全性を維持しつ  
つも、国や県の補助を最  
大限に活用し、限られた  
財源を町民のために有効  
に配分したことは、大い  
に称賛すべき点である。  
これは単なる数字の積み  
上げではなく、町の未来  
に責任を持つという、現  
在策定中である第6次総  
合計画に向けた強い覚悟  
の表れであると受け止め  
ている。

もちろん課題は山積し  
ている。少子高齢化への  
対策、地域経済の強化、  
次世代を担う子どもたち  
への投資。これらに立ち  
向かうには、私たち議会  
と行政、そして町民一人  
一人が「和をもつて」心  
を合わせ、未来に挑んで  
いかねばならない。  
以上の理由から、令和  
6年度決算の賛成討論と  
する。

賛成  
只野 順 委員

人口減少による町税収  
入の減少が影響し、財政  
力が弱い状況の中で、町  
民サービスを落とさず事  
業を行い黒字決算になつ  
た。しかし、退職者が8  
名に上り、マンパワー不  
足により、労働環境が著  
しく悪くなる。チーム  
ワークによる働きやすい  
職場を作り上げてもらい  
たい。

今後の人材確保と育成  
を含め、町民の付託に応  
える努力を期待し賛成討  
論とする。

## 9月会議採決状況

○…賛成 ×…反対

議長（大泉治）は可否同数にならない限り採決に加わりません。

| 件 名                                  | 一條裕太郎 | 二上 光子 | 黒澤 朗 | 佐々木敏雄 | 佐々木みさ子 | 稲葉 定 | 只野 順 | 後藤 洋一 | 伊藤 雅一 | 杉浦 謙一 | 門田 善則 | 竹中 弘光 | 大泉 治 | 議決結果<br>(全て可決)  |
|--------------------------------------|-------|-------|------|-------|--------|------|------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-----------------|
| 令和6年度涌<br>谷町各会計歳<br>入歳出決算の<br>認定について | ○     | ○     | ○    | ○     | ○      | ×    | ○    | ○     | ○     | ×     | ○     | ○     | 一    | 賛成・反対<br>(10:2) |

## 条例制定

○涌谷町自然環境等と再生可能エネルギー発電事業との融和に関する条例  
町の自然環境等と再生可能エネルギー発電設備を設置する事業との調和を図るため、事業者の手続その他必要な事項を定め、自然環境等に配慮した災害のない豊かで持続的な地域社会の発展に寄与することを目的として制定する。

## 既存施設への適用は

**問** 条文の必要な措置というのはどういうことを想定しているか  
また、すでに建設された施設には、この条例の効力は及ばないのか。  
**答** 災害の種類などにもよるが、災害による被害が生じる前に措置することを想定している。  
既存の施設にこの条例は及ばない。

## 涌谷独自の基準を

**問** 再生可能エネルギーは脱炭素、地球温暖化対策で木々を伐採して設置するのは本末転倒、涌谷ならではの自然保護基準の規制をすべきでは。  
**答** 検討していきたい。



## 討論

佐々木敏雄議員

太陽光パネルを設置した土地の管理が悪く、特に西地区の方々から管理規制の条例制定の希望があり、一般質問でもお願いしていた条例である。管理に加え、設置の規制もあり、ありがたい条例である。涌谷ならではの自然保護の規制を追加する検討を願い、条例制定の賛成討論とする。

## 一般会計補正予算

### 〈一般会計補正予算(第4号)の主な内容〉

- 3 億 872 万円を増額  
(歳出)  
・ ふるさと納税事業経費 ..... 2609 万円  
・ 定額減税補足給付金事業経費 ..... 1818 万円  
・ 土地改良区湧水対策事業負担金 ..... 400 万円  
・ 特産品ブランディング事業補助金 ..... 200 万円

\*万円未満切り捨て

## 歳入

### 議決が必要だったのでは

**問** ふるさと納税に再生エネルギー電気分が計上されていると思うが、発電機器等の寄附

や設置に行政手続き上、議決が必要と思うが。

**答** 町の財務規則上必要ないと考えている。

**問** 地方自治法上の手続きが必要と思う

**答** 精査検討する。

## 総務費

歳入より歳出が多い

**問** ふるさと納税の事務委託料が、歳入より多い額となっているがなぜか。  
**答** 今後歳入が増える見込みを考え増額している。

### 終了の見通しは

**問** 定額減税補足給付金事業について、いつまでに事業は終了するのか。  
**答** 国から11月をめどに終了するよう言われている。転居した方を追跡することもあるので終了は困難である。

### 継続の条件は

**問** 次の選挙から、農村環境改善セン

ターでも期日前選挙ができるようだが、投票率が下がった場合でも継続するのか。

**答** 投票率のためだけに実施するものではなく、あくまで町民へのサービスである。

## 農業費

### 湧水対策は

**問** 土地改良区湧水対策としてどのような事業が行われたのか。

**答** 二ノ袋、刈萱、花勝山、篁岳、大谷地での浚渫等である。

## 商工費

### 共同の考えは

**問** 遠田商工会という2つの自治体をまたぐ団体と共同で実施する事業ということで、涌谷町のみならず、美里町にも協力を仰ぎさらなるブランディング強化、販路の拡充を計るべきではないか。  
**答** 他の自治体の予算の兼ね合いもあり、簡単なことではないが、機会があれば協議していく。

9月会議では、9月11日に一般質問が行われ、5人の議員が町政について質問をしました。

掲載されている質問と答弁は、質問した議員が要約し、広報分科会委員が調製したものです。

町のホームページでは、動画の録画配信を行っていますので、そちらもぜひご覧ください。

涌谷町ホームページ URL

(<http://www.town.wakuya.miyagi.jp>)



涌谷中学校職場体験 P12へ



# ズバリ 町政をただす

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針などについての考えを問い、報告や説明を求め、よりよい方向へ導くものです。

## ただの じゅん 議員 (8 ページ)

- ①さくらんぼこども園の環境整備について
- ②役場内のバリアフリー化は進んでいるのか

## いなば さだむ 議員 (9 ページ)

- ①江合川との合流地点近くの旧北上川の堤防延伸はどうなった
- ②公共施設などの建替えを長期的に考える組織や検討会議が必要ではないか

## ささきとしお 議員 (10 ページ)

- ①「再エネ×ふるさと納税」プロジェクト概要の疑問点を問う

## にかみ みつこ 議員 (11 ページ)

- ①「マイナ救急」全国実施に向けた円滑な救急体制について
- ②「終活支援」の体制整備について

## すぎうら けんいち 議員 (12 ページ)

- ①学校給食無償化の実現を
- ②災害に強いまちづくりを

### 議員発議

#### ○議発第6号

刑事訴訟法の再審規定（再審法）の改正を求める意見書の提出について  
…（賛成全員で可決）

#### ○議発第7号

加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度創設等を求める意見書の提出について  
…（賛成全員で可決）

#### ○議発第8号

物価の高騰に見合う年金額引き上げを求める意見書の提出について  
…（賛成全員で可決）  
以上、3件の意見書を内閣総理大臣ほか関係大臣に提出した。

只野<sup>ただの</sup>

順<sup>じゅん</sup>  
議員



## 問 さくらんぼこども園の環境整備を

## 答 財源を含め方針を検討する

### 一般質問

問

人口減少により町内の子どもも少なくなり、町内3幼稚園の統合再編に進まざるを得ない状況だが、今後長期にわたってさくらんぼこども園が町の幼児教育の場所になる。令和8年4月には町内の幼稚園から何人通園するのか、また給食の調理員の確保は大丈夫か。

町長

現在、各幼稚園に在籍している3歳児及び4歳児全員が通園する仮定だと、54人となる。こども園に33人在籍しているため、90人を超える見込みである。調理員確保も柔軟に対応していく。

問

3路線でのスクールバスでの送迎と聞いているが、バス停などの安全対策は。

教育長

旧小里幼稚園や月将館小学校等の広く安全を確保できる場所での送迎になる。

教育総務課長

3ルートで始めるが、新入園児がいる住ま

いの場所によっては、追加検討もし、安全対策については委託業者へ安全指導もする。

問

体育館へのエアコンの導入は。

町長

暑さ対策での、屋内へのエアコン設置の緊急性は感じているが、財源を含め検討する。

問

こども園前の道路を町道に。また、かさ上げはどうなっているか。

町長

関係機関と調整し、町道認定を含めた今後の方針を検討する。

問

庁舎内のバリアフリー化は進んでいるのか

答

昇降機が設置できるか検討したい

問

役場庁舎は高齢者、障がい者の利用に配慮をした施設になっているのか。また、2階への移動手段は。

町長

築65年の庁舎の改修には多額の費用がかかるため進んでいないが、職員が支援や介助を行うほか、車いすの昇降機が設置できるか検討をしたい。

問

※心のバリアフリーのために町民や職員への啓蒙は行っているのか。

町長

平成28年に障害者差別解消法ができ共生社会を目指し、差別のない、地域づくりをしてきている。町民の方々へは広報等で周知し、



職員には意識付けをしている。

※心のバリアフリーとは

様々な心身の特性や考え方を持つすべての人々が、相互に理解を深めようとコミュニケーションをとり、支え合うこと。



## 問 旧北上川堤防の延伸を望む

### 答 要望活動が続ける

問

10年ほど前にもこの問題を尋ねているが、全く進捗が見られない。なぜこの状況になっているのか。猪岡短台地区は遊水地でもないし、過去にも何度も繰り返し水害に遭遇しているのに、無堤防地区の放置とも言えよう。

これまでは、東日本大震災の復興という理由があったが、一定の復旧が進み、もとの懸案事項にも目を向けてもらいたい。必要であれば住民運動も視野に入れて活動をしていくので、町からも要望してほしい。

町長

東北地方整備局や旧北上川下流河川事務所などに要望活動は継続しているが、実現には至っていない。築堤の必要性は十分感じている。町も延伸実現に向けて更なる要望活動をする。



旧北上川と江合川の合流地点



堤防はこの地点まで

問

庁舎などの更新は、十分な議論をせよ

答

各方面と相談する

問

町の庁舎、学校その他の老朽化が目立ち、更新の時期にきているが、立地場所やその規模、設備の内容など計画段階から町民代表を交えた十分な審議を重ねるべきだ。30年とか50年先も見据えた案が求められる。人口減という減速社会を無視することはできない。再び財政非常事態宣言を発することにもなりかねない。個人や団体に影響されない町民の納得のいく施設整備を望む。

町長

老朽施設は複数あるので優先順位を考え、議会や町民の意見を伺って計画を策定していくことが肝要であると考えている。

企画財政課長

庁舎内で財政計画

を議論し、その後に必要であれば、有識者や町民に意見を伺っていくべきものと考えている。





## 問 発電機器寄附は負担付き寄附では

答 その認識はない

## 一般質問

**問** 県内初の事業にもかかわらず、議会への説明がなかったのはなぜか。

**町長** ふるさと納税推進商品開発の一環の事業との思いであり、議員の意を汲んだ取り組みであったと認識している。

**問** 町が賃貸する土地と機器の条件は。

**企画財政課長** 約1500平方メートルの土地を年間25万9千円で10年間賃貸し、民間事業者が発電した電力を返礼品として供給する。収支などの詳細は把握していない。

**問** 寄付された機器の内容と契約の扱い

**企画財政課長** 太陽光パネル240枚とパワーコンディショナー10台が寄付され、町の財産として機器の契

約をしているが、貸付料は入っていない。

**問** 設備設置の予定と契約期間は。

**町長** 9月末に設置完了予定で、10月中旬以降ふるさと納税の受付開始、11月以降に供給開始予定。契約期間は令和7年7月1日から令和17年6月30日までの10年間で、終了後は借地者の負担によって現状に復して返還してもらう。

**問** 災害時の非常用電源としての機能は。

**企画財政課長** 発電所のパワコンディショナーから電力を引き出す仕様である。

**問** 運営費用とトラブル対策は。

**町長** 電力供給業者は電気料金を抑えることを目的としており、受付時に周知徹底を図

る。

**問** 供給先の選定と今後の方針は。

**町長** 現在は、天平の湯と研修館に供給予定だが、電力供給自由化されたため、今後模索検討する。

**問** 発電機器寄附に伴う設置工事や運営



寄附された太陽光パネル 240 枚



業者の指定は、負担付き寄附に該当するのでは。

**企画財政課長** 負担付き寄附との認識はなく、町は土地の貸付料のみで、事業者が維持管理し、発電した電力を返礼品とする仕組みである。

※負担付き寄附とは

寄附の契約に附された条件そのものに基づいて地方公共団体が法的な義務を負い、その義務不履行の場合には、その寄附の効果に何らかの影響を与えるようなもの。



## 問 マイナ保険証で円滑な救急体制を

答 要配慮者へ有益であり普及に努める

問 10月全国実施の「マイナ救急」へ

向けて、当町のマイナ保険証の普及への課題を問う。

マイナ救急は、救急搬送時にマイナ保険証の提示で、救急隊がカードリーダーで傷病者の5年分の既往歴や医療機関、薬剤情報を的確に読取り、医療機関へ共有し速やかな治療へつなぎ命を守る取組である。

当町のマイナンバーカードやマイナ保険証の普及への課題を問う。

町長 マイナンバーカード交付率は84・9%、手続きの煩雑さやカード紛失の恐れなどの理由から普及に課題があるが、要配慮者にとっては、マイナ救急は、有益であり普及に努める。

町民生活課長 マイナンバーカード普及促進事業として県の出張申請支援事業を活用し、商業施設や入所施設へ出向いてサポートを

予定している。

健康課長 マイナ保険証の登録は、病院の顔認証システムでも簡単に行えるものとなっている。

マイナ救急の流れ



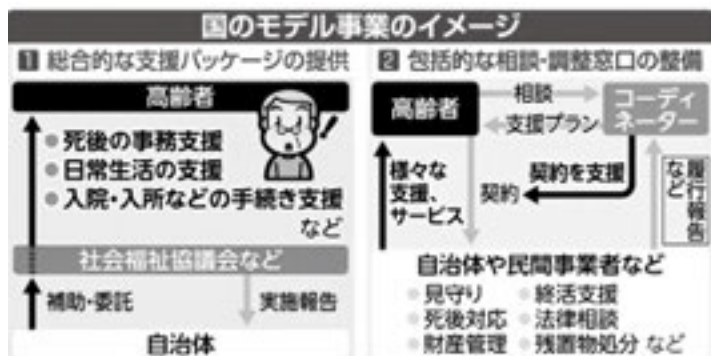
問 「終活支援事業」の早期な導入を

答 先進自治体を参考に導入を検討する

問 一人暮らしの高齢者や障がい者世帯など、今後、増えていく現状に対して、エンディングノート作成や医療・ケア等の意思表示の登録など、終活を総合的に支援する体制整備について伺う。

町長 地域包括支援センターを中心に民生委員や福祉関係機関と連携し、見守り活動や生活支援を実施している。町民の尊厳ある人生を支える取組として重要であり、当町の実情に則した事業の導入を検討する。

福祉課長 終活支援を推進する先進自治体を参考に、事業の導入について検討していく。





## 問 早期の学校給食の無償化を

答 国の動向を注視し、協議をする



**教育長** 「令和8年度予算編成過程において成案を得て実現する」との閣議決定が行われたことから、動向を注視し、教育委員会と協議を重ねていきたい。

**問** 近隣自治体で学校給食無償化を実施する可能性はある。遅れることなく無償化を実施すべきと考えるが。

**教育長** 令和5年度で188万2千円、6年度424万2千円、7年度で778万円を予定している。3年間で4倍以上となっている。課題としては財政負担が大きい。

**問** 給食食材に物価高騰対策を行っているが、現状と課題は何か。

## 一般質問

### 問 災害に強いまちづくりを

**答** 補助金を活用するなど検討する

**問** 指定避難所では、エアコン未設置の場所があるのではないかと対応はどうするのか。

**町長** 暑い時期の避難には、エアコンのある特別教室を利用するなどの対応を行っている。以前に質問のあった「石坂集落センター」へのエアコン設置には、コミュニティ事業補助金を活用して整備するなど、地域と協議しながら進めたい。

**問** 災害時のトイレトレーラーを準備して問題解決にあたる考えは。

**町長** トイレトレーラーは、簡易トイレと比較して非常に衛



### 表紙について

未来を担う子どもたちの晴れ舞台―涌谷修紅幼稚園運動会

秋晴れのもと、涌谷修紅幼稚園の運動会が9月27日に園庭で開催され、園児たちが元気いっぱい競技や演技を披露しました。会場には保護者や地域の方々が訪れ、あたたかい声援が響いていました。

### 7ページ右上の写真について

涌谷中学校2年生の職場体験がありました

職場体験を通じて、実際に仕事をしている人と接し、自分自身も体験することとで、働くことの意義や目的の理解、進んで働くこととする意欲や態度などを育むことができます。また、職業の意義についての基本的な理解・認識、自己を価値あるものとする自覚、夢や希望を実現しようとする意欲的な態度など、望ましい勤労観、職業観を育む重要な学習活動です。

# 行政視察レポート

## 目的

○子供の遊び場の現状とその運営について

○水道事業の広域化の知見を広げる

## 場所

○岩手県立児童館いわて子どもの森（一戸町）

○岩手県矢巾町子育て世代活動支援センター

○岩手中部水道企業団

## 視察報告

【岩手県立児童館いわて子供の森（一戸町）】

児童館機能を十分に發揮した施設として、岩手県が主導して建設したものである。地域振興の面が大きいのが特徴で、山林を大規模に活かしたものとなっている。リピーターの多い施設で興味深

い。障害児に対しても配慮されており、保護者が安心して利用できるのも特徴である。



いわて子どもの森 屋内遊具

【岩手県矢巾町子育て世代活動支援センター】

子育てと交流をテーマとした施設で、子供のみならずあらゆる世代が訪れているのが羨ましい。各世代のニーズにマッチした、無くてはならない施設となっている。子供の遊び場について、酷暑の日が続くような状況ではクーリングシエル



矢巾町子育て世代活動支援センター 視察

ターの役割を果たす場が重要となっている。2施設を訪問したが、クーリングシエルターとして建設されたわけではないが、その役割を果たし、子供たちが集う場、遊ぶ場、そして体験する場、楽しむ場の施設としてよく考えられている。

涌谷町においても子供の遊び場なる施設は必要と考える。

子供の居場所づくりの面で、総合的に子育て支援の拠点とするか、すべての世代を考慮した交流

の場とするかの選択肢の考えは様々と思うが、本町の施策として検討すべき課題である。

【岩手中部水道企業団】

岩手県中部地域では水道施設の大量更新や複雑化する水質管理の強化などに直面し、岩手県中部広域水道企業団議会において、平成14年2月に広域化への提言がされた。

平成16年から水道広域化に関する本格的な協議が重ねられ、平成26年4月から岩手中部水道企業団として、北上市、花巻市、紫波町の2市1町への水道事業が開始された。涌谷町においても給水人口や給水量の減少が著しく目立ち始めている。老朽管や施設設備の更新という問題がある。それに伴い安定的に水道事業が経営できるのか年々不安である。岩手中部水道企業団のように、水道施設をダウンサイジングできるかどうか。安定的に水を供給できるかどうか。必要な事業であるだけに、

近隣自治体と連携し将来における水道企業団を設立する場合には、このことは生かされるだろうと考える。



岩手中部水道企業団 視察



議会に皆さんの  
ご意見をお寄せください。

# わくや Voice vol.34



鈴木 由美さん(9-3区)

**Q** あなたのことを教えてください。

**A** 退職して14年。「まちかど保健室」や「わくわくこどもカフェ(子ども食堂)」に関わる中で、人とのつながりのステキさを感じています。これからもいっぱい「つながりの輪」が広がったらいいなあと思っている74歳の私です。

**Q** 議会についてどう思いますか。

**A** 議会の傍聴をさせていただき、議員の皆様の多岐にわたる活動に頭が下がります。今後ぜひ、私たちの小さな思いや要求、願いに耳を傾けていただき、誰もが安心、安全に暮らせる町を目指し頑張りたいと思います。

**Q** 涌谷町をどういう町にしたいですか。

**A** 困った時にみんなで助け合えるあったかい町になるといいなあと思います。そして、もっと世代間で交流が生まれる元気な町になったら素敵だなんて思います。

## 議会から

常日頃からボランティア活動に従事されており、感謝いたします。今後も健康に留意され活動していただきたいと思います。

各議員の一般質問の内容も動画配信しています。左下のQRコードからご覧ください。



当議会では、議会の内容を動画配信サイト「YouTube」で生配信しています。

涌谷町議会の本会議などをパソコンやスマートフォンで見ることができます。

**議会を傍聴  
しませんか**  
次回の定例会議は  
**12月10日から**  
開催予定です  
詳しい日程と一般質問の内容は、後日ホームページでお知らせします。  
詳しくは、議会事務局にお問い合わせください。  
☎43-2127

編集ろまん

わくや  
だより

実りの秋を迎え、町内各地では稲刈りや秋祭りなど、地域の笑顔がふれる季節となりました。五穀豊穡への感謝とともに、日々の暮らしを支える「まちの実り」についても考える時期です。9月議会では、令和6年度の決算審査が行われました。限られた財源の中で、子育て支援や高齢者福祉、防災対策など、住民の安心と暮らしを守るための施策がどのように行われたかを確認し、次年度に生かすための議論が交わされました。決算は町の「家計簿」であり、私たち議員がその使い道をしっかりと検証することが、町の未来をつくる第一歩です。黄金色に染まる田園のように、地域の努力が確かな実を結ぶよう、これからも住民の皆さまと共に歩みを進めてまいります。(二條 裕太郎)

編集 広報広聴常任委員会  
分科会長 佐々木 敏雄  
副分科会長 一田 裕太郎  
委員 稲葉 弘  
委員 黒澤 光  
委員 上澤 子朗